

きしゆくしゃ ないふくやくじ こ かんり せいとよう 寄宿舎での内服薬自己管理のきまり（生徒用）

れいわ ねん がつかいてい
令和7年10月改訂

きしゆくしゃ ないふくやくじ こ かんり ちゅういじこう I 寄宿舎での内服薬自己管理について注意事項

- ふくやく じ こ せきにん おこな しょくいん かくにん おこな
・服薬は自己責任で行ってください。職員による確認は行いません。
- の わす ちゅうい
・飲み忘れなどないように注意しましょう。
- まん いち の わす ばあい そな くすり の わす たいしよほうほう じぜん ほごしゃ はな あ
・万が一飲み忘れた場合に備えて、薬を飲み忘れたときの対処方法について事前に保護者と話し合
い、適切に対応できるよう準備しておきましょう。
- くすり う わた きんし ぜったい おこな じぶん しょほう くすり たにん わた
・薬の受け渡しは禁止です。絶対に行わないでください。自分に処方された薬を他人に渡すことは
命に関わる危険があります。管理に気をつけましょう。
- くすり ないよう へんこう くすりほうこくしょ くすりじょうほうていきょうしょ すみ ていしゅつ
・薬の内容に変更があったときは、「薬報告書」「薬情報提供書」を速やかに提出してください。
い。
- どうしつ せいと くすり もんだい ばあい しゃしつたんどう しょくいん し
・同室の生徒が薬をさわるなど問題がある場合は、すぐに舎室担当または職員に知らせましょう。

しゃしつ じぶん へ や くすり さいだい も こ すう 2 舎室（自分の部屋）への薬の最大持ち込み数について

- あんぜん さいだい も こ すう しゅうかんぶん よ びやく かぶん きせい い
・安全のため最大持ち込み数は1週間分とします。予備薬3日分は帰省ファイルに入れてください。
- しゅう ばじ さいだい も こ すう てきせい しゃしつたんどう みずか かくにんらい
・週の初めに、最大持ち込み数が適正であるかを舎室担当に自ら確認依頼をしてください。
たんどう ふざい ばあい ほか しょくいん いらい
担当が不在の場合は他の職員に依頼してください。

- さいだい も こ すう まも しゃしつたんどう かくにん わす つづ ばあい じ こ かんり
・最大持ち込み数を守れない、または舎室担当への確認を忘れることが続く場合は、自己管理での
たいおう
対応ができなくなります。

くすり ふくやくばしょ 3 薬の服薬場所について

- かくとう しゆくちよくしつ しょくいん ことわ にゅうしつ じぶん なが だい みず く い す
・各棟ブロックの宿直室に職員に断ってから入室し、自分で流し台から水をコップに汲み、椅子
すわ ふくやく おこな
に座って服薬を行ってください。

4 ^{くすり} 薬の保管方法や場所について

- ・ ^{ほかんばしょ} 保管場所は ^{しゃしつ} 舎室とし、^{かんりほうほう} 管理方法は ^{かてい} 家庭の方法を ^{ほうほう} 手本にして、^{ほごしゃ} 保護者と ^{そうだん} 相談して ^き 決めてください。
- ・ ^{ひる} 昼の ^{くすり} 薬は ^{まいあさわす} 毎朝忘れずに ^{がっこう} 学校へ ^{じさん} 持参してください。

5 ^の 飲み終えた ^お 薬の ^{くすり} ごみについて

- ・ ^の 飲み終えた ^お 薬の ^{くすり} 袋等は ^{ふくろなど} 「服薬確認」として、^{かてい} 家庭に ^も 持ち帰って ^{かえ} ください。
- ・ ^{きしゅくしゃ} 寄宿舍のごみ箱には ^{ばこ} 捨てないで ^す ください。

6 ^{くすり} 薬について

- ・ ^{ないふくやく} 内服薬は ^{まいしゅうまつかてい} 毎週末家庭に ^も 持ち帰り、^{かえ} 保護者に ^{ほごしゃ} 確認して ^{かくにん} もらいましょう。
- ・ ^{くすり} 薬を ^{しゃしつ} 舎室に ^お 置いたまま ^{きせい} 帰省しないで ^す ください。